

# リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

## L

キーワードは  
突き抜けた  
グローバル化

西園寺公望を学祖とし、118年の歴史を誇る立命館。北海道・滋賀・京都・大阪・大分にキャンパスを有し、2大学、4附属中学・高等学校、1附属小学校、学生・生徒・児童数約5万人を擁する。森島朋三理事長は立命館大学の卒業生。大学教育への思いを深めて母校の職員となり、1996年から2004年には立命館に籍を置きながら京都・大学センター(現・公益財団法人大学コンソーシアム京都)に向向。「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指す活動に奔走した。

「京都市や京都の他大学・企業と連携して様々なプロジェクトに携わり、自由に企画させてもらいました。30代の時にそうした経験ができたのはとても幸運でした。あの経験があったからこそ、今の自分があると思っています」

立命館が目指すのは、「突き抜けたグローバル化」。国際関係学部の開設(1988年)、多彩な留学プログラムの開発、立命館アジア太平洋大学(APU)の開学(2000年)、附属校3校の「スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業」採択など、学園一体となって国際化を進めてきた。

2014年には、立命館大学・APUともに「スーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業」に採択された。

「採択を契機に国際教育プログラムの一層の充実を進めています。今年4月には、国際関係学部にジョイント・ディグリープログラム「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科」を開設。両大学が連携して「グローバル国際関係学」を学ぶプログラムを設計し、国際社会においてリーダーシップを担える人材の育成を目指します」

### 未来を創る新学部が続々誕生

今年4月には「食マネジメント学部」が設置される。また来年4月には「グローバル教養学部」が新設される予定だ。前者は、経済学・経営学を基礎に、マネジメント・カルチャー・テクノロジーの3領域から総合的に「食」に関する深い知見を培い、高度なマネジメント能力と人類的な課題の解決に寄与できる人材の育成を目的としている。後者は、立命館大学とオーストラリア国立大学で計4年間学ぶことで、両大学の学位を取得できるデュアル・ディグリー(学部共同学位)プログラムを展開する。

「また、各附属校もグローバル人材の育成に力を入れています。例えば、立命館宇治高等学校は、世界中の大学への出願入学資格を得られる国際バカロレア・ディプロマ・プログラムに基づき、1年次から国語以外の全教科を英語で学習。世界水準の教育を実現しています」

今年1月、APUの学長にライフネット生命創業者として知られる出口明氏が就任し、話題を呼んだ。

「2000年に開学したAPUでは、現在89カ国・地域から約3,000人の留学生が学んでいます。教員も約半数が外国籍という多文化共生キャンパスです。その実績への評価は着実に高まっていますが、首都圏をはじめとしてその認知度はまだ十分ではありません。出口さんの情熱と発信力に期待しています」

リーダーの条件は「志の高さ」と「問いを立てる力」だと語る森島さん。それを養うための読書は欠かせないという。

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、森島朋三さんが語るリーダー論を紹介しています。  
<https://adv.asahi.com/> 朝日新聞 広告

本連載「リーダーたちの本棚」が書籍化されました  
『私をリーダーに導いた250冊』好評発売中  
朝日新聞出版 ISBN 978-4-02-331547-1 本体価格 1500円+税



立命館理事長 **森島朋三** さん  
1961年大阪府生まれ。86年立命館大学産業社会学部卒業。96年学校法人立命館の職員となる。96年から2004年まで京都・大学センター(現・公益財団法人大学コンソーシアム京都)に向向。立命館総務部長、常務理事、専務理事を経て17年7月から現職。

### 森島朋三さんのおすすめ本棚

- 『大学教育について』(岩波文庫) J. S. ミル 著 竹内一誠 訳  
文学、自然科学、社会科学、道徳、宗教、芸術などの一般教養科目についてそれぞれの意義を述べながら、大学教育の原点と理念を示す講義録。
- 『ヒルビリー・エレジー』(光文社) J. D. ヴァンス 著 関根光宏・山田文 訳  
労働者階級に生まれ、高校卒業後、海兵隊に入隊し、イラクに派兵。除隊後、オハイオ州立大学、イェール大学ロースクールを卒業した著者の絶筆。多岐にわたる職業をこなした著者の社会歩み。
- 『リオリेंट アジア時代のグローバル・エコノミー』(藤原書店) アンドレ・ファン・ファンク 著 山下純久 訳  
「銀」流通を追跡することで、近世に既に世界経済が一体であったこと、そしてその重心が圧倒的にアジアにあったことを論証した、世界的話題作の完結。
- 『貞観政要』(ちくま学芸文庫) 呉統 著 守屋洋 訳  
大唐帝国の礎を築いた太宗が名臣たちと交わした政治問答集。源頼朝、徳川家康、明治天皇もこの書に統治を学んだ帝王学の古典。70編を精選、訳出。
- 『天下 家康伝』上・下巻 (文春文庫) 火坂雅志 著  
惜しまれつつ急逝した火坂雅志の最後の文庫本。信長の着想力も、秀吉の魅力も家康がなぜ天下人になり得たのか。その謎に挑んだ意欲作。

# R

【読む】 Reading

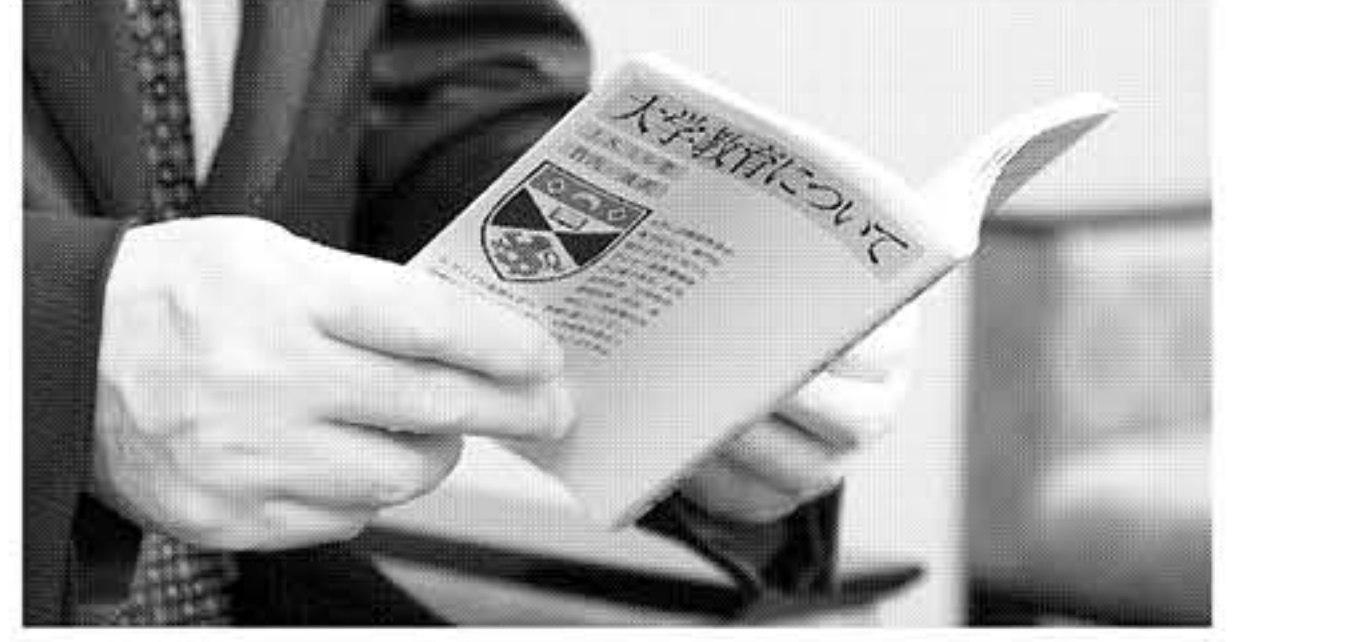
## 創造の源は想像、想像の礎は読書

「自由と清新」を建学の精神とする総合学園立命館。理事長を務めるのは立命館大学卒業生の森島朋三さん。「物事を創造するには想像力を働かせる必要があります。何が想像の礎となるのか。私は読書と経験だと思えます。選書のいちばんの手がかりは新聞の書評。欠かさず目を通していています」

れ始め、アメリカ型に倣うか、イギリス型に倣うか、はたまた日本型を守るかといった議論が活発化していった。90年代に入ると大学設置基準の改正により一般教養と専門教育科目の履修の自由度が増し、これを契機に多くの大学で専門教育を重視するカリキュラムへと変更が進むなか、立命館は教養教育重視の姿勢を堅持しました。ジョン・スチュアート・ミルの講演録「大学教育について」を読

み、その方向性の正しさを改めて認識しました。イギリスの哲学者で経済学者でもあるミルは、1867年にスコットランドのセント・アンドリュース大学の名誉学長に就任した際、大学の目的は職業教育ではなく教養ある人間を育成することとあり、文学や歴史などの教養教育は必須であると熱弁しました。科学技術の濫用などが起こり得る現代に於いて、これらが必要であると熱弁しました。科学技術の濫用などが起こり得る現代に於いて、これらが必要であると熱弁しました。科学技術の濫用などが起こり得る現代に於いて、これらが必要であると熱弁しました。

歴史に学び 日本の進路を探る  
立命館は、2014年に学祖・西園寺公望の名を冠した21世紀のグローバルリーダー育成講座「立命館西園寺塾」を開講しました。西洋を中心に展開されてきた近代資本主義の価値観のみでは未来は描けないのではないかと、昨今の閉塞感を打ち破るヒントは日本やアジアの歴史や価値観の中にあるのではないかと、この思いから「リオリेंट」を読んだとき、西園寺塾の考え方に通じると感じました。同書は18世紀ごろまでは西洋よりもアジアのほうが世界経済にとって重要であり、アジアの衰退により西洋が勃興できたことを鮮やかに描いた作品です。著者のファンクは、アメリカの社会学者のイマニエル・ウォーラーステイ



潮流は、同書に端を発すると言っても過言ではありません。そして今まさに、世界は再びアジアに向き始めている。歴史の足跡を再構築し、日本が取るべき進路を探るうえで非常に参考になる本だと思えます。

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1  
詳細は <http://www.mikasashobo.co.jp>  
TEL: 0120-398899 (株)ブックライナー(フリーダイヤル) (9:30~19:00)からもご購入いただけます。

知的生きかた文庫  
超健康になる!  
10万部突破!  
おなじみ、血管の名医の新提案!

血管を鍛えると健康になる!  
池谷敏郎 医学博士

日本の仏さま  
並木伸一郎  
眠れないほどおもしろい

教科書では読めない  
仏教界のスーパースター列伝!  
「仏像を見る目」が変わる!

日本のおもしろい  
4万部

100万部突破伝説のベストセラー!  
「家庭でできる自然療法」の姉妹版!  
(あなご健康社)

作品なども30点掲載!  
99歳、ひとりを生きたる。  
ケタ外れの好奇心心で

日本画家 堀文子

生きた実例と手引き  
「自然療法」

東城百合子 Yuriko Tojo  
最新刊

自然療法の大家による最新刊!  
ガン、糖尿病、脳梗塞、アレルギー...  
病院では治らないと言われた病気を、  
食事と手当てで改善した方々の生の声、  
実践例もふんだんに紹介!

ISBN978-4-8379-2713-6  
●定価(本体1400円+税)

シリーズ累計 50万部突破! 大好評!

満尾正の「カラー図解版」大ベストセラー!!

50代からの「老いない体」の作り方

A5判 図解オールカラー 定価: 本体 630円 + 税

好評既刊 40代からの「太らない体」の作り方

A5判 オールカラー 定価: 本体 552円 + 税

若返りホルモン DHEAが若さを決める!

10歳以上、若く見える人の習慣

名医が教える! 10歳以上、若く見える人の習慣

体脂肪率は「ちょっと高め」を目指す  
・1日1個、「卵」を食べる  
・寝る3時間前に夕食をすませる  
・歩く速さで、ゆっくり走る

一つ実践するごとに、体が変わる